

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教科	国語	科目	現代文B	学年	3	類型	商業科
単位数	2	教科書	新 高等学校 現代文B	出版社	明治書院		
副教材	・新高等学校現代文B学習課題ノート ・現代文の演習問題集						

学習の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てます。
授業の概要	論理的な文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確に捉え、その論理性を評価できる力を身に付けることで、人間や社会、自然などについて自分の考えを深め、発展させる力を養います。また、文学的な文章では、書き手の意図や人物・情景・心情の描写を的確に捉え、表現を読み味わえるようにします。合わせて国語の常識や漢字の読み・書きの演習を取り入れ基礎的な知識を身に付けます。

学 期	単 元	教 材	学 習 内 容	評価の観点				
				①	②	③	④	⑤
年 間 学 習 計 画	1 随想 (1)	おまえはどこに立っている	<ul style="list-style-type: none"> 随想の読解のしかたを習得する。 文章の構成の特徴について理解する。 筆者の考え方や他者の生き方を知ること、自分自身の生き方について考える。 	◎			○	○
	1 小説 (1)	マスク	<ul style="list-style-type: none"> 場面展開を丁寧に追ひ、小説の世界を体験する。 登場人物の心理の移り変わりを、その場面の状況や立場、境遇などとの関連で理解する。 	○		○	◎	
	1 評論 (1)	言葉を理解する	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章を読解する。 言葉の意味の決定には、文全体、文脈や具体的な場面の理解が必要なことを読み解く。 言葉の危険性について、日常生活の中で具体的に考える。 	○			○	◎
	1 詩	流星	<ul style="list-style-type: none"> 朗読により、詩のリズムとイメージを喚起する。 詩の言葉の持つ個性豊かな表現を味わう。 内容・構成・表現・主題について理解し、鑑賞の仕方をつける。 	○	○			◎
2 学 期	2 小説 (2)	恐れ	<ul style="list-style-type: none"> 空想から生まれた小説の面白さを味わう。 老人の心情を読み取り、老人の描いた絵に込められた意味について考える。 主題について考え、自身の生きる意味について考えを深める。 	○	○		◎	
	2 評論 (2)	あるいは「風」について	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な評論の文章構成を確認する。 日本の伝統芸能に対する筆者の考えを読み取り、内容の理解を深める。 日本の伝統芸能に関する基礎的な知識を習得する。 	◎			○	○
	2 小説 (3)	舞踏会	<ul style="list-style-type: none"> 時代背景を確認しながら、小説の構成を把握する。 登場人物の心情やその変化を読み取る。 比喻表現や記号表現を理解し、小説の中での効果を考える。 	○			◎	○
	2 随想 (2)	サフラン	<ul style="list-style-type: none"> 比喻表現が表しているものを理解しながら、筆者が発見し、考えたことを明確に読み取る。 自分の普段の知の獲得の仕方を振り返り、傾向や問題点について言葉で説明する。 	○	○		◎	
3 学 期	短歌・俳句	我が腕に涙ながして 耕せばうごき	<ul style="list-style-type: none"> 短歌と俳句それぞれの表現方法の特徴を理解しながら、主題を鮮明に把握する。 イラストなどを用いて作品の世界を視覚化したり、鑑賞文を書いたりして作品の解釈を深める。 	○		◎	○	

※「評価の観点」欄の数字は、下記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を付けている。

評価の観点及び評価規準				
① 関心・意欲・態度	② 話す・聞く能力	③ 書く能力	④ 読む能力	⑤ 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法				
定期考査に加え、提出物（感想文、課題、ノート、レポート等）、小テスト（漢字テスト、確認テスト等）の成績などを総合的に評価します。また、平常の授業態度や発表の姿勢・内容、積極性なども評価の対象になります。				

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教科	国語	科目	古典A	学年	3	学科	商業科
単位数	2	教科書	標準古典A 物語選 (183 第一 古A 314)	出版社	第一学習社		
副教材	最新国語便覧						

学習の目標	古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てます。
授業の概要	様々な古典を熟読したり、古典に関連する文章に触れることで親しみをもち、古人の教えや考え方を学びます。「高校生のための愛媛の文学」等の資料にも触れながら、古典をより身近なものとして味わいます。また、必要に応じて大学入試に対応できる力を身に付けさせます。

学期	単元	教材	学習内容	評価の観点				
				①	②	③	④	⑤
年間 学期	1 説話	古本説話集 十訓抄	・比較的短い説話を読んで、古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・機知に富んだ返歌を読み味わうことで、日本語の言語文化に対する理解を深める。	◎			○	○
	1 故事・寓話	助長・画竜点睛	・短めの文章を読んで漢文に親しみをもち、故事に込められた古代中国人のものの見方や考え方を読み味わう。	○			◎	○
	1 物語一	竹取物語 伊勢物語	・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を深く読み味わう。 ・比較的短い歌物語を読んで古文に親しみ、歌物語における和歌の役割を理解する。	○			○	◎
	1 三国志の世界	水魚之交	・話の展開を的確に把握し、登場人物の行動や心情を読み味わうとともに、中国における敵視の特徴について調べ学習に取り組む。	○			◎	○
習 学期	2 随筆	徒然草 枕草子	・随筆を読んで、人間や社会などに対する作者の思想や感情を読み取るとともに、現代に生きる自らの生き方を考える。 ・文章の構成や展開に即して的確に捉え、優れた表現を読み味わう。	◎			○	○
	2 漢詩の鑑賞	近体の詩	・漢詩の表現の美しさを読み味わう。	○			◎	○
	2 物語二	大鏡	・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。	○			◎	○
	2 項羽と劉邦	鴻門之会	・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を理解する。『史記』について概要を理解し、興味を持たせる。	◎			○	○
3 学期	3 物語三	源氏物語	・物語の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。歴史上優れた作品に触れることで、我が国の伝統と文化について理解を深める。	○			○	◎

※「評価の観点」欄の数字は、下記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を付けている。

評価の観点及び評価規準				
① 関心・意欲・態度	② 話す・聞く能力	③ 書く能力	④ 読む能力	⑤ 知識・理解
古典を進んで学習し伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。			古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間や社会、自然について考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身に付けている。	古典を読むために必要な語句の意味、用法文の構造、文法、音声表記等を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法				
定期考査に加え、提出物の成績などを総合的に評価します。また、平常の授業態度や発表の姿勢・内容、積極性等も評価の対象になります。				

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教科	国語	科目	国語表現	学年	3	学科	商業科
単位数	2	教科書	国語表現 改訂版	出版社	教育出版		
副教材	国語表現改訂版演習ノート						

学習の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めます。また、思考力や想像力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てます。
授業の概要	適切に表現する力、総合的なコミュニケーションの力を高めるために、多様な学習活動を通して表現力を高め、大学の推薦入試やAO入試、就職試験、更には社会人として必要な基本的なスキルを段階的に学習していきます。

学 期	単 元	教 材	学 習 内 容	評 価 の 観 点					
				①	②	③	④	⑤	
年 間 学 習 計 画	1 学 期	文章表現の基礎	表記の仕方 推敲 説明の方法	・文章表現に必要な基礎力について確認する。 ・推敲するときの観点を学び、他者に理解されやすい文章の書き方を学ぶ。 ・適切な順で書くことを学び、わかりやすい説明文を書く。	◎		○		○
		声の表現	声を出そう 文字を声に変える 声の発表会	・声の出し方を学ぶ。 ・声の高低や間の工夫を学ぶ。 ・他者の興味関心を引く紹介と朗読の工夫について習熟する。	○	◎			○
		小論文Ⅰ	意見を述べる 文章の型 構成ノート 演習 文章のリフォーム	・意見と根拠を短文で書く。 ・文章構成の種類を学ぶ。 ・小論文執筆の準備の仕方を学ぶ。 ・「問い」「意見」「根拠」に着目する。 ・推敲する観点を学ぶ。	○		◎		○
	2 学 期	人とつながる言葉	挨拶と人間関係 待遇表現	・自らの言語生活を検証する。 ・敬語の使用方法を理解する。	○	○			◎
		面接—社会との接点	自分を知る 志望先の情報を集める	・自己分析ノート・エントリーシートを書く。 ・面接の基本事項を学ぶ ・志望先の情報収集の仕方を学ぶ。 ・実際の面接を想定して練習する。	○		◎		○
		言葉を届ける	電子メール 電話とメモ 手紙	・電子メールのマナーを理解し、適切な形式と内容で電子メール文書を作成する。 ・適切な電話応対をし、メモを取る。 ・自由な手紙を書くことで、表現の可能性について考える。	○		◎		○
3 学 期	小論文Ⅱ	要約の方法 課題文演習 課題文型小論文	・的確な読解力と適切な表現力を身に付ける。 ・課題文の論点を的確に見つける。 ・明確な意見表示と十分な根拠で展開させる。	○		○			
	エッセイを書く	エッセイを読む エッセイを書く 作品作りと壮語批評	・読者を引きつける文章の条件を考える。 ・題材を探して、エッセイを書く。 ・作品集を作り、気に入った文章を選ぶ。	◎		○		○	
	言葉を届ける	電話とメモ・手紙	・電話メモの留意点や手紙の形式を確認し、練習する。	○	◎	○			
	メディア・リテラシー	メディアの特性を知る 模擬面接	・メディアの責任について理解し、受け取る側と発信する側の留意点を知る。 ・地域の課題を知り、解決するための方策を考える。 ・地域を活性化するための企画を立て、ポスターを作る。	○	◎				

※「評価の観点」欄の数字は、下記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を付けている。

評価の観点及び評価規準				
① 関心・意欲・態度	② 話す・聞く能力	③ 書く能力	④ 読む能力	⑤ 知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的・意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

評価の方法

定期考査に加え、提出物の成績などを総合的に評価します。また、平常の授業態度や発表の姿勢・内容、積極性等も評価の対象になります。